

常磐文藝

私の川柳

ノートから
新妻新坊

質草がなくなる頃に秋
来る
朝の朝お隣りの遅いこ
と
タイピスト隙をぬすんで
艶文も打ち
眞剣に惚れた頃には金が
なし
院長は一寸さはつたばか
りなり
拘引をされたばかりで本
が賣れ
お妾の引越し猫を抱いて
ゆき
時節末だ來らず續勤二十
年
秘親展蔵ぢやないかと手
が懐へ

美味で評判の
遠藤パン
(平驛前)

今冬ノ御案内
小供毛シヤツ
小供毛系洋服
小供マント
婦人シヨール
都巻各種
オーバセイター
大人小毛シヤツ
メリヤス類色々
家庭ノ編物トシテ
經濟ナ毛糸各色澤
山揃ツテ居リマス
海岸線平町
電話百四十番

開設
料理御
大村や
郡役所横通
旅館
大村屋
平町二丁目
電話一七五番

看護婦派出
の求のに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

急電
電話
賣り渡し
姓名在社

渡邊藥局
平町三丁目
渡邊政五郎
(郵便局向)

一冊の代金で
御望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
平町長橋町三五
川崎同文庫
(市込次第規則書進呈)

日本勸業債券通信社
福島共榮無盡會社
外交員募集 大谷保太郎
◎月收二百圓以上
他三優遇法アリ希望者ハ履歴書
持参ノ事外交員ハ自宅ヨリ直接
外交ニ當ルモ差支ナシ

電話
新設披露
電話
卅一番
平町土橋通り
原齒科醫院

ゼブラ
自轉車購買會
◎今回は何時でも御入會が出来升
……景品付……
惠比壽屋商店
平南町(電話呼三四四番)

大谷時計店
洋品部
平町三丁目
電話園一九番

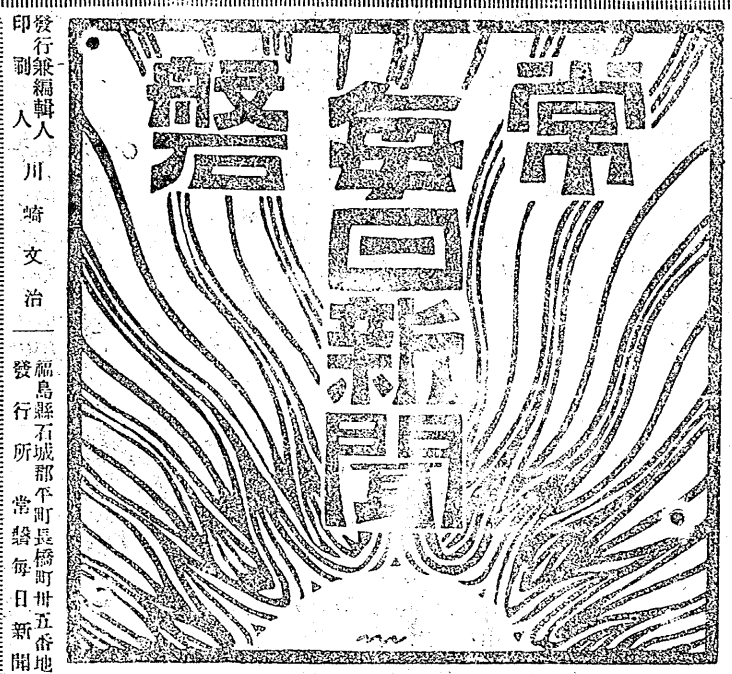
建築材料
警城セメント樽入 袋入
板ガラス各 種
壁用材料各 種
ペンキ塗各 種
セメント、板ガ
ラス安價になり
ました、
御照會を乞ふ
警城セメント株式會社代理店
西村屋藥舖
平町二丁目 電話園三番

内科 小兒科 梅毒科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話園五〇七番

株式賣買中値
電話に金融
銘格 拂込 時價

警城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
警越銀行	一一五	一〇五
警城實業	五〇〇	四二〇
警城實新	三〇〇	二八〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二五〇
同 新	一五〇	一九〇
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	四三〇
同 新	二五〇	一九五
只見川電	一一五	七五
植田水電	一一五	一五五
好間水電	一一五	一三〇
警城製菓	二〇〇	二〇〇
平信託	五〇〇	二五〇
警城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製水	二五〇	一八〇
好間軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一〇
警城炭礦	五〇〇	四一〇
同 新	二二五	一八〇
警城セメン	五〇〇	六五〇
同 新	三三五	四四〇
平運送	一一五	八〇

丸登式株店
平町田町 電話三三三番
川添房二郎



刊夕日十二月一十

讀者慰安招待の
答へとして
昨夜の催し感謝申上れます
奉仕と感謝との現れが積り
積つてあの盛況をなしたの
だと思ひます。私は會場の
一隅に在つて「感謝と感謝
の觸れあひ眞剣があるそこ
から火花が散る熱が出る鐵
をも溶かすやうな！」と痛
感しました。僕は一面識も
ないものですが、川崎さん
のあるノックに揮ひ立つ
てペンを書きすべらす氣にな
りました。僕は一個の野人で
す、しかし郷土を固守する

熱情は燃えて居ります。別
紙は昨夜の感激を歌つた
のです、歌を作つたことの
ない僕ははじめて作つて見
ました歌は素人でも何事か
閃いてゐると思ひます、
紙面の片隅にでものせられ
ば幸甚と思ひます。
この断片を純情への感謝と
して捧げば嬉しく心おどる
も、つたなきを歎く
ゆうべなつかしき催しに映
畫の夢に入る歡びを得とは
誰故ひ
冬の夜はいと恵れて風は黙
し冷氣は去りて興自づと湧
熱に生ける「常磐毎日」さ
らばあくまで連れかし奉仕
の一路を踏みてぞ(二、八)

重傷坑夫を虐遇し 全山不穩の形勢漲る

原坑内爆發後報

寝臺もない附屬の病院

石城郡藤原炭礦の坑内爆發に關しては平區裁判所より梅村檢察官が和川書記と共に急行せる外他事務署より二名の技師急行原因其他を聞き協議する由

門傳氏合格

來月中旬頃 判檢事就任

平町出身千葉地方裁判所司法官試補門傳清氏は此程筆記及び口述の定期試験に合格したから來月中旬頃判事か檢事の辭令に接する事となる由

水産共進會に

飛行機宣傳

漁船との連絡

來月一日から大津町に開催する茨城、福島兩縣聯合水産共進會開期中新治郡水産會では霞ヶ浦航空隊からアプロ練習飛行機を拂下げ遠海漁業に於ける魚獲の偵察及び飛行機と漁船との連絡掌の說明に附して出陳する計劃である

乳兒を抱へて

炭礦哀話

不幸な後山婦

茨城縣新治郡三村生れ善三郎三女鈴木ふく(こ)は去月初旬石城郡好間村古河炭礦の後山婦として働いて居たが乳兒を抱へた儘内縁の夫に捨てられ炭礦も廢坑とな

兎の耳

兎人を射殺す

午後六時卅分頃十名の馬賊が老頭溝を襲ひ龍井から出張した湯毛氏外數名は彼等に狙撃され湯毛氏は即死

革新大會混亂

大阪中央公會堂に開かれた革新俱樂部關西大會の席上宣言決議せんとするに當り一名の青年が「異議あり畢儀あり」と叫んだ爲め大混亂に陥り鐵拳飛んで血の雨を降らしたといふ

洞穴を發見

千葉縣勝浦町東端に古代人類の生存した洞穴を發掘したが高さ

本日の無電開通式

△秋の陽晴れて △小名濱の賑ひ

既報石城郡小名濱無線電信開通式は本日午前十一時より水産試験場内にて舉行先

汽車に轢かる

川前附近で

平郡線川前驛江田信號所の間に於て本日八時頃六十二三歳の老爺汽車に轢かれて全身粉砕し平署林部長檢視に出張した

女辯士の

女房は何處に

亭主の搜索願

山形縣東置賜郡大川村鈴木伊右衛門の内縁の妻北海道生れ今野トモ(こ)は女辯士にて各地を巡業中去年十月山形市千歳座に開演中原籍不詳樂士木村武雄(こ)と割り無き仲となり遂に墮落ちし平町に潜伏中の模様であるとして夫伊右衛門から平

平局長挨拶

各官衙歴訪

新任平郵便局長小松良滋氏は本日小川主事の案内にて平町諸官衙、新聞社等新任



紅茶、コーヒー

の進め方

紅茶々碗は圓みをもつた大きいものでコーヒー茶碗は細

い形で小さいものを用ふこれに従つて匙も紅茶のよりは小さいものです、進める心得はどちらも同じです、まづ器に七分目程の紅茶やコーヒーの出したのを入り受皿にのせ、手のついた方は客の左手にくるやうにします。模様のある茶碗は客の正面にむけなければ手のつ

いた方は右でもよい。サジは茶碗の手に、柄は客の右手に仰向けにおき日本室の時は、客に對する方を自分の向ふ側にまはして持ちまたは盆にのせて運ぶ。客がテーブルに付いた時は普通飲む方を自分の手前に持ち、客の左右何れも都合よき方から進めます。

打瀬船の漁業が有望

前年より増收

石城郡小名濱附近の打瀬漁業は最近何れの方面に向つても一晝夜二百圓以上の漁獲あり前途頗る有望で前年に比し増收の見込分である

産業組合會議

郡會議室にて

石城郡内各産業組合長會議

平町人事

△婚姻

△立町 新妻實氏(二三) 双葉郡長塚村中野シヅ子(二〇)
△久保町 武石常四門氏(三八) 茨城縣平河町栗田(二六)
△死亡
△杉平 大谷幸平(一七)
△鎌田町 大原(六七)

平第一小學校 水戸方面へ

修學旅行を

平第一小學校尋常六年生六十五名は神林訓導其他二名引卒の許に二十二日午前五時平驛發上り列車にて水戸市及び大洗海岸に修學旅行する由

不平受付

投書歡迎

炭礦の椿事昨 今各炭礦に慘事が突發し其度びに命を失へ誠に困つた事だと思ひます、是れは炭礦の坑内設備が不完全な結果だと思ふのですが斯くの如く炭礦に椿事の起る事は平町の景氣にも影響する事ですから其筋の徹底的取締りを願ひます (町民生)

募集

文藝其他投稿を募集します

伊藤平署長の答 人を以つて如何とも爲し難い事は止むを得ないとして或程度迄は科學の力に依り災害を防止する事が出来るのですから當署としても常に嚴重各炭礦に反省を促して居るのです

廿三日の神嘗祭をトし石

田中大將と 小林博士の講演會合同

四間深さ四十四尺にて人骨や古器が充滿して居た

左傾團の活躍

體主領は寄々協議を重ね普選議會には堺利彦翁を擔ぎ出さんと種々秘策を講じて居る由

外國婦人を襲ふ

日夜銀ブラ中ホル婦人マツタキ(三)を襲つて卅圓在中のオペラバックを強奪し去つた怪漢がある

好問學級減少

既報石城郡好問村尋常高等小學

郡役所會議員に於て小林丑三郎氏博士の講演會をまた在郷軍人會石城聯合分會にて同一時より劇場帝國館に於て田中義一大將の講演會を執りも開催の筈で準備中の旨既報の通りであつたが同一の日に於ける二ヶ所の會合は容易に得難き知名の講演なるに拘らず聴衆者にとり不便少くないので前記二團體代表協議の上同日午後一時より帝國館に於て前記二氏を講師とする合同主催の講演會を開き廣く一般の來聴を迎ふるに決定した